

会長挨拶

昭島市自治会連合会
会長 中島 岩雄

明けましておめでとうございます。年頭にあたり会員皆様の健やかな一年をお祈り申し上げます。

今年はオリンピックが行われる年です。TVや競技場で選手を応援し、そして、自分も元気になるものです。

思えば、去年は東日本で、台風災害が多かった年です。特に千葉県、長野県、東北地方の災害が甚大でした。そして、市内でも台風19号の大雨で多摩川が氾濫しそうになり避難勧告が発令されました。災害は自身の周囲に迫っています。

防災の備えや心構えは常にして置きたいものです。私達、自治会は「まちかど防災訓練」や「学校避難所運営委員会」で災害に強い地域社会を目指しています。その為には地域で活動する若い世代の発想、諸団体との連携、大勢の協力が大切だと思っています。

今年も新たな気持ちで誠心誠意、尽力します。自治会活動にご理解、ご支援をお願い申し上げます。

年頭のご挨拶

昭島市長 臼井 伸介



明けましておめでとうございます。

お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より市政各般にわたり、温かいご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

人口減少・少子高齢化が進行し、社会経済状況もめまぐるしく変化する今日、地域コミュニティの核であり地域のきずなの中心となる自治会は、なくてはならない存在であります。

快適で笑顔があふれ、「昭島大好き」と思っただけのようなまちづくりに、引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

自治会・自治連の年間事業概要 詳しくは所属の自治会にお問い合わせください。

事業名	概略内容	時期
祭り、フェスティバル	夏季に出店や神輿・山車巡行・盆おどりなどの催し	7月～9月
ブロック別運動会	複数の自治会が集まり地域で秋季運動会を開催	10月～11月
餅つき、芋煮会	正月の前後で冬らしい催し	11月～翌2月
まちかど防災訓練	自治会やブロックで消防署の協力を得て防災訓練を行い、防災意識を啓蒙	6月～翌2月
地域の防犯・防火パトロール	安全安心の地域を継続するために警察、消防と協力しパトロールを実施	夏季、冬季
エリア別ミーティング	地域の問題や課題を行政と話し合い、対応を検討	10月～11月
募金協力	社協会員増強、赤い羽根、歳末助け合い運動に協力	5、10、12月
研修会	会長、自治会役員を対象として講習会やワークショップを実施	6月、12月
加入促進	イベントや集会で自治会への加入を呼びかけ	通年
情報発信	会報、だより、チラシ、ホームページで行事予定や実施結果などを展開	通年



■台風19号の状況と市及び自治会の対応

令和元年10月12日関東地方に上陸した台風19号は、各地に甚大な被害をもたらしました。昭島市においても、土砂災害警戒区域に「避難指示」が、多摩川浸水想定区域に「避難勧告」が発令されました。その時の昭島市及び自治会の対応をお知らせします。



▶昭島市の状況と対応

①風雨の状況と警報/注意報

- ・11日 雷注意報・強風注意報
- ・12日 洪水警報・雷注意報・暴風警報・大雨特別警報・土砂災害警戒情報
最大瞬間風速 29.6m/s 時間あたり最大雨量 24mm/h 総雨量 265.5mm

②避難所開設他

- ・26ヶ所 1,137名の避難者を受け入れた。(台風15号は3名)
- ・市等の体制 市役所192名、消防団71名、東日本成人矯正医療センター96名、都2名、自衛隊2名、消防署2名

③全市被害状況

- ・人的被害は無。多摩川運動施設・くじら公園・水鳥公園の水没冠水等
- ・土嚢要求66件 1,180袋



▶各ブロック、自治会の対応

- ① 東ノ岡自治会：警報/警告をハンドマイクで地域に連絡、集会所を避難所とした。
- ② 8ブロックと上の原自治会：警報、避難所開設の連絡FAXを拡大し全会長に配布。
- ③ 1ブロックと郷地玉川自治会：集会所を避難所とした。その後、玉川小に誘導した。
- ④ 5ブロック：近隣住民を玉川小に搬送した。

■台風19号対応を教訓とした今後の避難所運営について

1) これから改善していく問題の提起と回答(⇒防災課の回答)

- ①台風は事前に来ることが分かるので、ひどくならない内に避難所開設してほしい。
⇒市として風水害の対応が明確になっていなかった点と、刻々と変化する状況下で対応が遅れた。課題を集約し、対応を検討する。
- ②市立会館には飲み物・毛布など備蓄品をおいてほしい。
⇒乾パン・水・毛布などは用意しており、当日も避難者には配布した。しかし、原則、自主避難で必要な物は自分で持参してもらいたい(食料や常備薬など)。
- ③車両での避難やペットと一緒に避難をできるようにしてもらいたい。
⇒風水害における車両での避難及びペットとの同行(同伴)避難について、対応策が明確になっていなかったため、今回は応急的な対応となってしまった。今後対応を検討する。
- ④浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域、また避難場所を事前に知らせてほしい。
⇒平成28年度に作成・全戸配布したハザードマップで確認できる。市ホームページでも閲覧できるので活用してもらいたい。また、再来年度には新たな防災マニュアル(ハザードマップ)を作成・全戸配布を予定している。

2) 郷地玉川自治会で行ったアンケート調査結果

- ①避難警報などの情報は50%の人がTVやスマホで得ている。
- ②避難は対象者の30%しか実行してない。 ③避難場所は対象者の60%が知っていた。
- ④多くの人が自家用車で避難する。

■ “ママボノ” プロジェクトチームとの自治会アピール資料づくり

昨今の高齢化、従来の退会防止策から視点を変え、若い世代も参加できる自治会作りを目指した若い視点による提案資料を作成しました。

キックオフミーティング



6月～9月：申請から準備まで。

東京都の“地域の課題解決セミナー”への参加、協力依頼の提出、審査、面接を経て個別支援先団体に指定されました。

・助っ人は7人の若いママさんチーム“ママボノ”のボランティアメンバーです。

・全員が育児休暇中のママさん達で東京都により選抜されたチームです。

10月～12月：キックオフから報告書作成まで。調査から報告まで2ヶ月、メンバーは赤ちゃんをオンブしての現地調査。運動会等での地域の皆さんへのインタビュー、データ調査、等々。



昭島市の自治会アピール資料 「地域で暮らす」を始めよう！

を作成頂きました。

内容は“昭島市自治会連合会”HPに掲載予定。

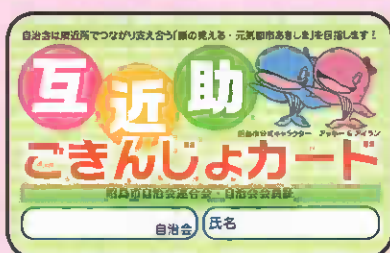
- ・自治会の加入促進活動にご利用ください。
- ・皆様の個別自治会HPの写真を使わせて頂いています。

■協力店一覧第6版の誤記訂正

先に配布致しました“協力店一覧”第6版の誤記報告を以下のように致します。そして、関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。尚、自治会連合会のホームページ掲載データも訂正いたしております。こちらもご確認下さい。

** 協力店一覧第6版正誤表 ** (左のNoは一覧表掲載番号で、5店舗の修正項目です)

○ No. 4	フォレスト・イン昭和館 (誤)宿泊室料10%割引	(正)宿泊室料20%割引	○ No.85	(株)セシモアガーデン会館昭島 (誤)・・・成果・・・	(正)・・・生花・・・
○ No.45	とうふ屋豆音(とおん) (誤)http://kyosaren.com	(正)http://kyosaren.jp	○ No.87	そうしんホール昭島 (誤)・・・争議・・・	(正)・・・葬儀・・・
○ No.74	中神不動産(株) (誤)中神不動産建設(株)	(正)中神不動産建設(株)			



2019年度版協力店一覧を各戸配付しました

ごきんじょカード(会員証)を提示すると、現在104の協力店で各種サービスが受けられます。

■エリア別ミーティング開催

自治会が抱える課題を行政と話し合う場「エリア別ミーティング」。今年度は下記3校区の課題について意見交換を行いました。回答内容は別途お知らせします。

* 10月28日昭和中学校区 口頭回答4件、文章回答12件

- 1.自治会の状況に対する現状認識及び今後のあり方、そのための取り組みについて（郷地第三）
- 2.総合スポーツセンター利用について（五月）
- 3.図書館本館移転に伴う東部分館又は機能の設置（八清親和会）
- 4.国営昭和記念公園昭島口の「昭島の顔となる入口」への整備（八清親和会）



* 10月29日瑞雲中学校区 口頭回答5件、文章回答7件

- 1.ミニ開発物件の届け出、連絡先表示義務化について（中神団地）
- 2.つつじが丘小学校の通学路について（つつじが丘東）
- 3.資源回収について（つつじが丘北）
- 4.サロンについて（つつじが丘北）
- 5.学童下校時の見守りについて（プレイシア）



* 10月31日拝島中学校区 口頭回答4件、文章回答8件

- 1.Aバス運行ルート改善について（小荷田）
- 2.松原立体に防犯カメラを付けてほしい！（みまつ）
- 3.通学路の見守りについて（みまつ）
- 4.八高線ガード下道路について（西武拝島ハイツ）



■12/7自治会長交流会開催

このとき行われた、(一財)都市防災研究所 工学博士 三船康道氏の講演会「自治会の意義を問い直そう！」のあらましをお伝えします。

1.地域の底力発展事業

東京都は多様な主体が連携し積極的に課題を解決していく力＝地域力向上＝を支援している。

2.近年の想定外の災害

令和元年台風15号、19号による強風や大雨による被害は記憶に新しいところ。

3.東日本大震災による避難所の教訓

①避難所に暖房器具や毛布がなかった ②メディアの取材があった避難所は支援物資が豊富に届いた ③認知症の妻を抱えた夫が、同じ避難所に長くいられず転々とした挙句、妻を手にかけて自らも命を絶った

4.自治会の意義

①役員の高齢化と若手の担い手不足 ②地域力で共助を！ ③マンションの課題 ④地域が一体となって共助

5.新たな試み

①防災訓練のあらたな試み いつも同じことではなく新しいことを ②イベントの新たな試み BBQなど集まるのが楽しくなるイベント ③著名人に協力依頼

*自治連主催の交流会、研修会に支援を戴きました。

扶桑建設グループ 昭島ガス株式会社 河辺印刷株式会社